

1. 「税」の意義と役割を知ろう

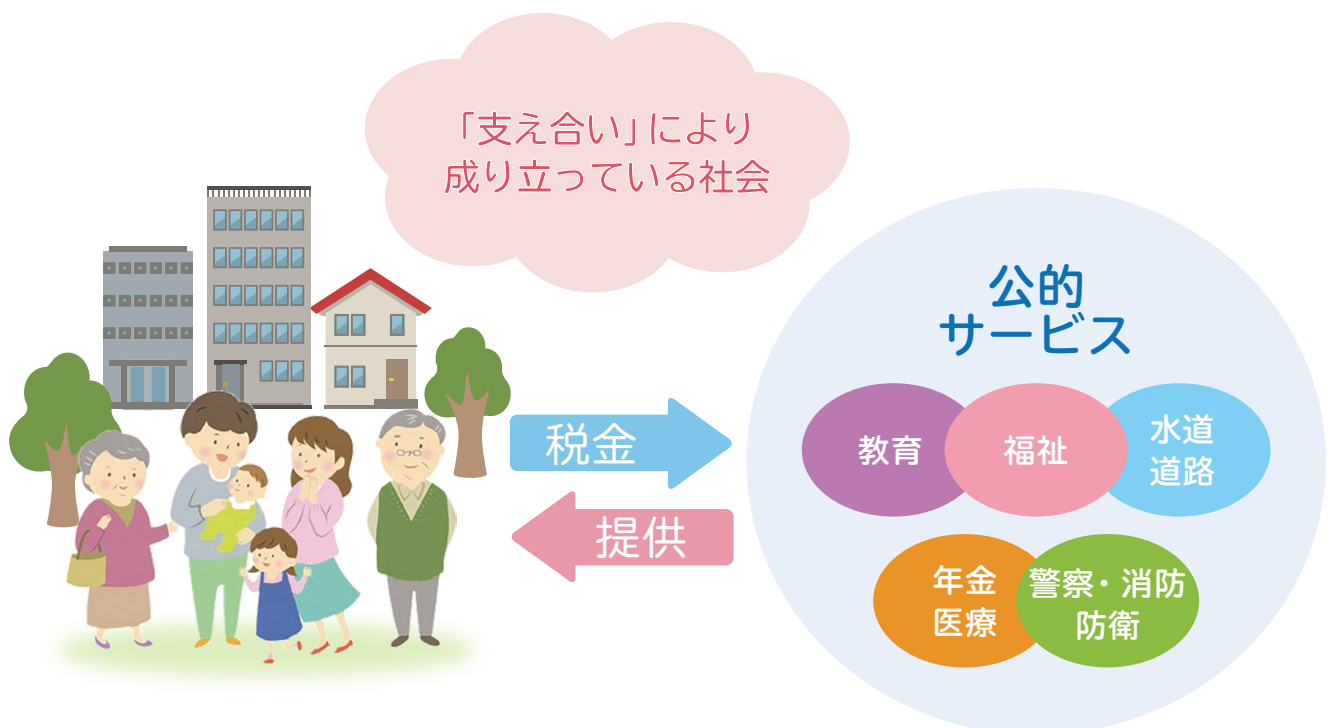
1 「税」は社会の会費

年金、医療などの社会保障や、水道、道路などの社会資本、教育や警察、消防、防衛といった公的サービスは、私たちの暮らしには欠かせないものですが、その提供には費用がかかります。

こうした「公的サービス」は、警察や防衛のように、特定の人だけに提供することが困難なものや、社会保障や教育など、費用負担が可能な人だけに提供することは社会的に不適當なものであり、市場の民間サービスだけでは、必要な量・水準のサービスが提供されません。

このため、こうしたサービスの費用は、みんなが納める税を財源とすることで、公的に実施することが求められます。

みんなが互いに支え合い、共によりよい社会を作っていくため、公的サービスの費用を広く公平に分かち合うことが必要です。まさに、税は「社会の会費」とと言えます。



2 「税」の役割

1 財源調達

税は、「**公的サービス**」の**財源を調達**する最も基本的な手段であり、税制の最も直接的かつ重要な役割です。

2 所得再分配

所得税や相続税には、経済力のある人により大きな負担を求める**累進性**があり、社会保障給付等の歳出とあいまって、所得や資産の**再分配**を図る役割を果たしています。

3 経済安定化

税は、好況期には**税収増**を通じて総需要を抑制する方向に作用し、不況期には**税収減**を通じて総需要を刺激する方向に作用することで、自動的に景気変動を小さくし**経済を安定化**させます。

3 「税」の三原則

公平の原則

- ・経済力が同等の人に等しい負担を求める「**水平的公平**」
- ・経済力のある人により大きな負担を求める「**垂直的公平**」
- ・近年では「**世代間の公平**」が一層重要に

中立の原則

税制が個人や企業の経済活動における選択を歪めないようにする

簡素の原則

税制の仕組みをできるだけ簡素にし、理解しやすいものにする